

## 1.3 受験者の皆さんへ

### (1) 試験前日及び当日の注意事項

- ① 受験者は、試験前日までに、試験場・道順等を確認するため、「試験場案内」及びウェブサイト（受験票の URL 又は二次元コード参照）により試験場を確認しておいてください。  
ただし、試験室の下見は認めません。
- ② 試験場へは公共交通機関又は徒歩により来場してください。公共交通機関を利用する場合は、天候等も考慮に入れてください（試験当日は、試験場周辺の道路の渋滞が予想されます。時間に余裕を持って、早めに移動することを心がけてください。）。
- ③ 自家用車・タクシー等による試験場付近での乗降は、深刻な交通渋滞を招きますので、ご遠慮ください。試験場付近は、駐停車禁止となります。
- ④ 自家用車、バイク及び自転車での入構はできません。また、受験者以外は、試験場には入場できません。
- ⑤ 受験者控室は、試験開始 1 時間 30 分前から利用できます。
- ⑥ 受験者の入室時刻は、各試験場でお知らせします。
- ⑦ 試験当日は、「**東北大学受験票**」（インターネット出願登録サイトから A4 判・カラーで印刷し必要部分を切り取り）及び「**大学入学共通テスト受験票**」を必ず持参し、試験場に入場する際、提示してください。  
なお、受験票を忘れた場合は、試験当日、試験場受付に申し出てください。
- ⑧ 試験に関する連絡事項等は、掲示により通知しますので、試験場掲示板に注意してください。
- ⑨ 遅刻した場合は、試験場受付に申し出てください。試験開始後 30 分までの遅刻者については、受験を認めます。  
なお、交通機関の事故又は災害等が発生した場合、その状況によっては、試験開始時刻が繰り下げられることもありますので、留意してください。

※ 所定の日程による試験実施が困難となるような不測の事態（自然災害等）が発生し、志願者への緊急の連絡が必要となった場合は、以下のウェブサイトでお知らせします。

・PCサイト（東北大学アドミッション機構）：<https://admissions.tohoku.ac.jp>

・スマホ・携帯電話サイト：<https://daigakuje.jp/tohoku/>

（「東北大学TOP」→「入試情報」）



- ⑩ 昼食は各自で用意してください。
- ⑪ 本学キャンパス内及び敷地周辺は全面禁煙です。

(2) 受験上の注意事項

- ① 試験中は監督者の指示に従ってください。
- ② 試験開始の前に試験に関する説明がありますので、**試験開始 20 分前までに試験室に入室してください**。受験者の席は、「東北大学受験票」に記載の受験記号番号によります。
- ③ 試験時間中に使用できるもの  
試験時間中に使用できるものは以下のとおりです。

使用できるもの	留意事項
東北大学受験票, 大学入学共通テスト受験票	机の上の見やすいところに置いてください。なお、大学入学共通テスト受験票については、中央にある点線に沿って山折りで二つに折り、写真がある面を上にしてください。また、退室の際には必ず携帯してください。
黒鉛筆, シャープペンシル, 消しゴム, 鉛筆削り (小型)	商標等が印刷されている鉛筆, シャープペンシル及び消しゴム等の使用は認めますが, 和歌, 格言等が印刷されているものは使用できません。
時計	計時機能のみ使用を認めます。 ・アラーム機能やバイブレータ機能, 時報機能を使用することはできませんので, 試験室に入る前に設定は必ず解除してください。 ・情報端末としての機能を有するものは, ④の「試験時間中に使用できないもの」に含まれます。
メガネ	メガネをかけたりはずしたりすることはかまいません。 ・情報端末としての機能を有するものは, ④の「試験時間中に使用できないもの」に含まれます。
ハンカチ, 座布団, ひざ掛け, 目薬, 使い捨てカイロ, 手袋 (多汗症用を含む。)	使用を希望する者は, 監督者に申し出て許可を受けてから使用してください。
ティッシュペーパー	使用を希望する者は, 監督者に申し出て許可を受けてから, 袋から出して机の上に置き, 使用してください。
薬	監督者に申し出て許可を受けてから, 薬の服用を行ってください。
マスク	写真票による本人確認の際には, マスクを外していただきます。

④ 試験時間中に使用できないもの

③の「試験時間中に使用できるもの」以外の物品の使用はできません。机上 (物入れ部分も含む。) に置いていたり, 身に付けていたり, 手に持っているとは不正行為となる場合があります。

以下に「試験時間中に使用できないもの」の一例を示します。

使用できないもの (主なもの)	留意事項
情報端末, 通信機能のある機器 例) 携帯電話, スマートフォン, タブレット, スマートウォッチ, スマートグラス等のウェアラブル端末	試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し, 電源を切っておいてください。試験開始前にかばん等の中に入れておいてください。 なお, 試験時間中にかばん等の中で着信音やマナーモードの振動音などが発生した場合には, 監督者が本人の了解を得ずにかばん等を試験室外に持ち出し, 試験場本部で当該試験時間終了まで保管します。
音の出る機器等	
ストップウォッチ, キッチンタイマー, 学習タイマー	時計として使用することはできません。
定規, コンパス, 下敷き, 筆入れ, シャープペンシルの芯入れ (ケース)	解答時には使用できませんので, 椅子の下に置いてください。
耳せん	監督者の指示等が聞き取れないことがありますので, 使用できません。

文字や地図等がプリントされている上着等	着用しないでください。着用している場合には、脱いでもらうことがあります（商標等を除く。）。
飲食物	試験実施中は、試験室内での飲食はできません。

- ⑤ 次の教科については、試験開始後、科目を変更することができます。ただし、他の外国語からドイツ語・フランス語への変更は認めません。

教科	学部名	留意事項
外国語	文学部・教育学部・法学部・医学部医学科	英語・ドイツ語・フランス語の中から 1 科目の選択筆答を課します。科目選択にあたり、インターネット出願登録サイトで必ず、英語・ドイツ語・フランス語のいずれかを選択してください。英語への変更以外は、変更は認めませんので、選択の際は注意してください。
	経済学部（理系（後期）を除く）・理学部・医学部保健学科・歯学部・薬学部・工学部・農学部	英語が指定科目ですので、科目を変更することはできません。
理 科	経済学部（理系（前期）のみ）・理学部・医学部・歯学部・農学部	各学部の出題科目の中から 2 科目の選択筆答を課します。科目選択にあたり、インターネット出願登録サイトで必ず 2 科目を選択してください。
	薬学部・工学部	物理・化学が指定科目ですので、科目を変更することはできません。

- ⑥ 解答用紙は、持ち帰らないでください。
- ⑦ 問題冊子は、試験終了後に持ち帰ってください。ただし、試験時間中は監督者の許可なく問題冊子を持ち出すことはできません。許可なく持ち出した場合は、不正行為となります。
- ⑧ **試験開始後及び試験終了後に監督者が指示するまでは退室できません。**  
試験室からの退室は、当該教科のすべての回収した答案枚数の確認が終わり次第（試験終了時刻から約 30 分後）となります。  
なお、試験時間中の体調不良又はトイレ等により、やむを得ず一時退室を希望する場合には、手を挙げて監督者の指示に従ってください。ただし、一時退室が認められた場合でも、一時退室していた時間分の試験時間の延長は認められません。
- ⑨ 1 教科でも受験しない者は、失格とします。
- ⑩ 不正行為を行った者は、失格とします。
- ⑪ 試験場内では監督者並びに係員の指示に従ってください。指示に従わない場合は失格となることもあります。
- ⑫ キャリーバック等の大きな荷物は、受験の際、座席の脇に置くことができます。ただし、監督者の巡回に支障があるときなど、監督者の判断により、受験者の了承を得た上で、試験室の空いているスペースに移動する場合があります。
- ⑬ 「学生募集要項」は、ダウンロード・印刷して試験当日に持参するとともに、入学手続まで保管してください。
- ⑭ 本学は、受験者に対する合否電報の取扱いは行っていません。また、試験場周辺及びその他の場所での合否電報等の取扱いについても、本学では一切責任を負いません。

### (3) 感染症に関する注意事項

試験当日に、学校保健安全法施行規則で出席停止が定められている感染症（インフルエンザ、麻疹、新型コロナウイルス感染症等）にかかり治癒していない者は、他の受験者や監督者等への感染のおそれがありますので、受験を認めません。ただし、病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められた者は、この限りではありません。

なお、本学では上記理由による追試験は行いません。

受験者の皆さんは、試験当日に万全の体調で試験に臨めるよう、感染予防・健康管理に十分ご留意願います。